



▲カンヒザクラを植樹する参加者たち

**第66回地方植樹祭 緑化推進を新たに誓う**

5月31日、葉ノ木平震災復興記念公園（葉ノ木平地内）で、「第66回地方植樹祭」さらかわ震災復興記念植樹祭」が行われました。この植樹は白河市と西白河、東白川郡が一丸となり取り組んでいるものです。

式では、鈴木市長が「葉ノ木平から福島を元氣付ける桜が育つて欲しい」とあいさつし、白三小緑の少年団を代表して、青木梨沙さん・竹内悠斗さん（6年）が緑の誓いを述べました。続いて、公園内8か所で記念植樹が行われ、参加者は緑化推進への誓いを新たにしました。



▲熊本城の石垣を視察する鈴木市長

**熊本市長表敬訪問・熊本城視察 熊本城修復の支援を誓う**

6月9日、鈴木市長が熊本地震で被災した熊本市を訪れ、大西一史熊本市長と面談を行いました。

鈴木市長は、東日本大震災で被災し現在復旧作業が進む小峰城の経験をいかし、熊本城の修復を支援する意向を伝え、大西熊本市長と固い握手を交わしました。また、修復のために寄附金を贈呈したほか、熊本城を視察し、「想像以上の被災。熊本城は復興のシンボルになる。少しでも力になりたい」などと語りました。

詳しくは、広報白河8月1日号の特集で紹介します。



▲訓練の成果を披露する選手たち

**第8回白河市消防操法競技大会 日頃の訓練で培った技術を競う**

6月19日、東風の台運動公園（東釜子）で「第8回白河市消防操法競技大会」が行われました。

この大会は、団員の操法技術の向上と火災防衛体制の強化を目的に毎年開催しています。今年はポンプ車の部に14チーム、小型ポンプの部に25チームが出場し、日頃の訓練で培った技術を競い合いました。

競技の結果、ポンプ車の部は白河方面隊第4分団第2部第1班（久田野）、小型ポンプの部は表郷方面隊第3分団第2部第1班（表郷梁森）が優勝を果たしました。



▲グラウンドに浮かび上がる「想」「創」「奏」の3文字

**熊本地震復興応援キャンドルナイト ～とびけよう希望のひかり～**

5月21日、東風の台運動公園（東釜子）で、熊本地震復興応援キャンドルナイトが行われました。このイベントは、ひがし商工会青年部が主催し、東日本大震災で受けた支援を恩返ししようと企画したものです。

当日は、グラウンドにペットボトルを利用したキャンドルを約2千本並べ、「ふるさとを想い、人を創り、未来を奏するために」と思いを込め、「想」「創」「奏」の3文字を作りました。また、県南地域の商工会青年部がご当地グルメを提供し、その売り上げの一部を義援金に充てました。



▲エールを送る法政大学応援団の皆さん（前列右から2番目が龍口委員長）

**白河復興応援プロジェクト 白河六旗 伝統ある応援に元気をもらおう**

6月19日、市民会館（手代町）で、東京六大学応援団連盟（龍口健太郎委員長）による「白河復興応援プロジェクト 白河六旗」が開催されました。

各大学の応援団が、チアリーダーや吹奏楽部とともに、応援歌や校歌などを力強く披露し、市民などにエールを送りました。約1、400人の観衆は、手拍子と声援で、一緒に会場を盛り上げていました。

また、前日には、市内全中学校の3年生が招待され、伝統ある各大学の応援に、元気をもらいました。



▲堂々とパレードをする児童たち

**交通安全鼓笛パレード 児童たちが元気に演奏**

5月25日、市内全15校の小学生による交通安全鼓笛パレードが行われました。

開会式で、佐久間未来さん（小野田小6年）が交通安全の誓いを述べた後、白三小から中町交差点までの約1.5kmの道のりを、児童約1、260人がパレードしました。

児童たちは、元気に堂々と演奏し、交通安全を呼びかけました。沿道には、保護者や多くの市民が駆けつけ、日ごろの練習の成果を披露した児童たちに、多くの声援や拍手が送られました。